

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	地 理 探 究	2	3	理系NP	10・11組

教科書	帝国書院 新詳 地理探究	副教材	とうほう 新編 地理資料2025
	二宮書店 基本地図帳		二宮書店 データブックオブザワールド2025

科目の目標	<p>1. 世界の地形について、営力的分類から大観し、それぞれの地形の特徴と人間生活への影響を考察する。</p> <p>2. 世界の気候について、その成り立ちを大観し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。</p> <p>3. 産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察する。</p>
-------	---

科目の概要	<p>地球上の位置，世界の地形，世界の気候，農産物の生産と流通，資源の生産と消費，工業製品の生産と流通，人々の生活と文化について学ぶ。問題演習を通して地理的思考力の向上を目指し、様々な問題に触れ考察していく。</p> <p>SDGsの観点から世界の気候変動や自然災害について学習していく。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知識・技能」	②「課題対応力」,③「論理的思考力」, ④「原因分析力」,⑤「傾聴力」,⑥「受信・発信力」,⑦「協働力」	⑧「行動力」,⑨「自己管理能力」,⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	各地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。地理的思考力を働かせ問題を解くことができる。	現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動の様子

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1節 地球上の位置と国家 1 地上の現象と地球上の位置 2 経度の違いと時差 3 球面と平面の世界 4 国家の領域と国境 5 日本の領域と領土問題 2節 グローバル化が進む世界 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	緯度や経度の仕組みを理解し、地球の自転と公転が季節に関係している事を捉える。経済活動を始め、私たちの生活に時差がもたらす影響を理解する。また、緯度の違いが世界各地の気候に影響を与えていることを理解する。東西冷戦の終結と共に国家間の結び付きが軍事的結合から経済的結合へと変化した事、地域的枠組みにより自由貿易が拡大している事を理解する。
	2章 人間生活を取り巻く環境 1節 生活に影響を与える環境条件とは 2節 人々の生活と地形 1 さまざまに変化する大地と生活 2 世界の大地形と人々の生活 3 山地・平野の地形と人々の生活 4 海岸の地形と人々の生活 5 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	生活の舞台としての地形について、山地に住む人々と低地に住む人々の地形と生活の関りを考察する。 世界の地形について、営力的分類から大観し、それぞれの地形の特徴と災害と恩恵など人間生活への影響を考察する。 日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と自然災害の特徴を理解すると共に、開発のあり方を考察する。
2 学 期	3節 人々の生活と産業・文化 1 生活を支える世界の農業 2 生活を支える世界の工業 4章 地域的課題と私たち 3節 世界の資源・エネルギー問題 1 限りある資源・エネルギー 2 地域で異なるエネルギー問題 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	グローバル化の地球経済の進展、及び、かつての先進国とそれを凌駕する経済成長率と人口の増加が見られる新興国家群の台頭の中で、農業、工業、世界システムの在り方も変化している。現状を踏まえた上で、今後の農業や工業の見通しをテクノロジーの進化も加味して考察する。また、諸産業を支えるエネルギー問題に関し、テクノロジーと地政学の観点も加味して考察する。
	第2部 身近な地域の課題 1章 身近にある様々な地図 1 身近な地図とその特色 2 GISの仕組みと支える技術 2章 日本の自然環境と防災 1 日本の自然環境 2 地震被害と防災 3 火山災害と防災 4 風水害・雪害と防災 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	近年、身近になりつつある自然災害や環境問題の諸問題について考察する。 身近な問題となっている自然災害について、ハザードマップなどの教材に触れ、環境と防災に関する意識を高める。 また、SDGsの考え方などにもこの項目で考察する。
3 学 期	【特別編成授業】 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。